

# パブリックコメント実施結果報告書

平成25年3月26日

担当課	文化観光局国際観光推進課
担当者	山根
連絡先	0857-26-7310

意見公募のテーマ： 国際リゾートととっとりプラン（案）

## ①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、 3（1）と記載してください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・県民局へ	その他の方法	計
14（14）	0（0）	260（260）	0（0）	0（0）	274（274）

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

## ②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した （一部のみ反映したものを含む）	1	・「MICE・教育旅行・国際交流等の多様な誘客」とありますが、交流は観光と性質が異なると思います。交流は相互訪問で経済効果が半減します。
既に盛り込み済み	3	・中国や韓国は領土問題に観光客数が左右されるが、距離も近く、日本との結びつきも強いので、重点的に集客するのがよい。 ・観光は1つの県だけで考えるのではなく、隣接する県や地域とのパッケージで考えることも必要。 ・羽田空港国際線を利用したプロモーション活動も必要だと思う。また、豪華客船が寄港しており、これを国際観光振興の柱の一つにするべきだと思う。
今後の検討課題	6	・米子ソウル便の存続は費用対効果を考えて、よく検討すべき ・鳥取ならではの伝統工芸、食材、などの魅力を研究し、アピールすることが大事ではないか。 ・民族芸能が年中見れたり、体験できる館を整備してはどうか。 ・観光のパンフレットが多すぎるように思う。各施設が発行しているものは良いとして県が発行したり、観光協会が発行したり、色んなところが個々に発行して重複している部分もあると思う ・多言語看板などは景観を損なう。多言語対応はIT機器の活用。景観と、伝統、文化の保護で日本や鳥取の歴史と今を楽しんでもらうのが良い。
対応困難	263	・反日国である中国、韓国からの誘客には反対。親日国である台湾、東南アジアからの誘客を推進すべき。 ・外国人よりも日本人観光客の誘客に力を入れるべき。
その他 （例：施策の体系外の意見等）	0	
計	274	

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

## ③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

→とっとりネットのパブコメページ・  
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とっとりネット （実施担当課）	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民課等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他
○		○			

※「その他」の例：審議会報告など

注：③「意見募集結果の概要」には、意見に対する県の対応方針も記載してください。  
参考：H23実施結果 →<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=173293>